

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業の目的を明らかにする「つかむ」、課題を解決する「調べる」、自分の考えをもって話し合う「まとめる」といった活動を毎時間行い、社会的な事象に対する判断力や思考力が高まった。
- ・単元の最初や課題設定の授業で、掲示資料や発問を工夫することによって、関心・意欲を高めることができた。
- ・体験的な活動や、ICT の活用を通して、関心・意欲を高め、知識の定着と技能の習得を図ることができた。

(2) 課題

- ・学年が進むにつれて知識・技能の定着の割合が下がっていくため、単元に合わせた効果的な資料の提示など、限られた時間の中で効率的に用語・語句の定着を図る。
- ・問題解決的な学習を通して、自分の考えをもち、友達と伝え合う活動を行うことによって、思考力や伝える力を高める。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

※ ◎…目標値を上回った ○…目標値と同程度 △…目標値を下回った

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	△		
第5学年	○	◎ (第4学年時)	
第6学年	△	◎ (第5学年時)	○ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四方位や地図記号の理解が十分に定着していない。	・見学経験のあるスーパーマーケットの工夫に関する問題など、資料や体験を基に、判断したり工夫を探したりすることに課題がある。	・主体的に取り組む態度に関する問題について、自分なりの回答をする児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・全体として目標値、区平均を上回っている。 ・マスメディアについての理解が十分に定着していない	・全体として目標値、区平均を上回っている。 ・資料などから分かること（事実）や体験を基に予想	・全体として目標値、区平均を上回っている。 ・日本の産業に関する問題の定着が高く、意欲をもって

い。 ・「くらしを支える水」で出てくる関係機関や場所の理解が十分ではない。	を立てたり、対話をしたりする活動で、根拠を示して判断したり考えたりすることに課題がある。	学習に取り組んでいる。
--	--	-------------

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分に身近なものが、社会の中でどのような役割を担っているのかを正しく理解するために、写真や動画等の資料を使って調べる機会を多く設ける。 ・単元のまとめでは、知識を深めたり日常生活と関連できるように、新聞作りなどの活動を通して、関係図を作成したり、まとめたりする活動を設ける。 ・四方位や地図記号については、ことあるごとに授業で取り上げ、確実な定着を図る。	・資料の見方について、どの資料からどんなことが分かるのか、自分の考えはどの資料で根拠付けられるのかを意識した問いかけを行い、資料活用能力を高める。 ・自分の考えを対話的な学習や伝える相手を意識してまとめることによって、表現力を高めるようにする。	・児童の興味・関心から課題を設定した学習を展開する。 ・写真やグラフなどの具体的な資料を提示して、気付いたり考えたりしたことを話し合うことによって、各時間の意欲付けを行っていく。 ・社会科見学などの体験を通して、知識と地域の社会的事象を関連付け、知識習得への意欲や社会参画への意識を高めていく。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図帳や地球儀、統計などの教材・教具を教室に置き、頻繁に使用させることでそれらの使い方に慣れ、用語や語句を身に付けられるようにする。 ・地理的・時間的に直接触れることができない事物・事象は、デジタル教材を活用して知識の習得・定着に役立てる。	・複数の資料を準備し、比較や関連付けを行いながら考えられるようにする。 ・論点に沿って資料を読み取り、考えを繋げながら、資料から全体的な傾向を考えたり、複数の資料を関連付けて読み取ったりできるようにする。	・導入を工夫したり友達との話し合い活動を通して考えを深める楽しさを感じたりすることによって、興味・関心の幅を広げる。 ・社会科見学などの体験を通して、知識と地域の社会的事象を関連付け、知識習得への意欲や社会参画への意識を高めていく。